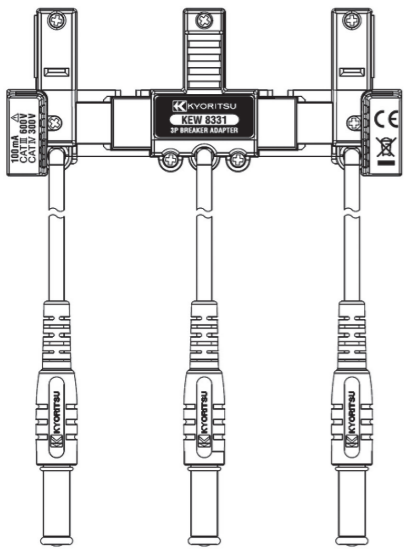


取扱説明書



3P ブレーカ端子用アダプタ

KEW 8331

共立電気計器株式会社

10-25

92-2639A

3. 仕様

- 使用温湿度範囲 : -10 ~ 50°C, 相対湿度: 85%以下 (結露の無きこと)
- 保存温湿度範囲 : -20 ~ 60°C, 相対湿度: 85%以下 (結露の無きこと)
- 使用電圧範囲 : AC0V ~ AC600Vrms (50Hz/60Hz)
- 対応ブレーカサイズ: 30AF ~ 250AF*

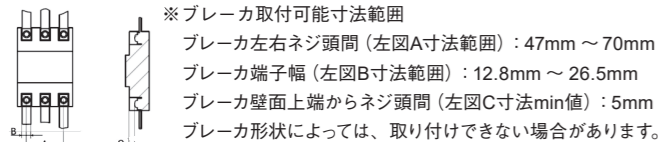


Fig.3-1

- 定格電流 : 100mA
- 外形寸法 (本体のみ): 50(L)×117.5(W)×37(D)mm (コード部除く)
- ケーブル長 : 1.5m
- 重量 : 約230g
- 付属品 : 取扱説明書、MODEL 8077先端アタッチメント
- 別売りオプション : (1) MODEL 7315-BLKバナナφ4メス-メスアダプタ (2) MODEL 9096 携帯用ケース

4. 各部名称

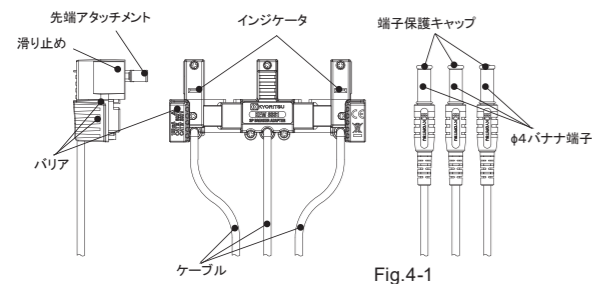


Fig.4-1

バリア: 操作中の感電事故を防ぐため最低限必要な沿面及び空間距離を確保するための目印です。

1. 使用上の注意 (安全に関する注意)

本製品はIEC 61010-031: 手持ち型プローブアセンブリに関する安全規格に準拠して、設計・製造の上、検査合格した最良の状態出荷されています。この取扱説明書には、使用される方の危険を避けるための事項および本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事柄が書かれていますので、お使いになる前に必ずお読みください。

△ 危険

- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
- この取扱説明書は、お手元に大切に保管し、必要な時にいつでも取り出せるようにしてください。
- 取扱説明書で指定した製品本来の使用方法を守ってください。
- 取扱説明書の安全に関する指示に対しては、指示内容を理解の上、必ず守ってください。指示に従わないと、怪我や事故の恐れがあります。危険、警告および注意に反した使用により生じた事故や損傷については、弊社として責任と保証を負いかねます。

本製品に表示の △ マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を示しています。なお、この △ マークには次の3種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

△ 危険: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。

△ 警告: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 危険

- 本製品に対地電圧600Vを超える電圧は絶対に入力しないでください。また本製品の端子間に600Vを超える電圧を入力しないでください。
- 本製品はCAT III 600V/CAT IV 300Vに適合しています。CAT III 600V/CAT IV 300Vを超えるカテゴリ(CAT IV 600V等)に該当する場所では絶対に測定を行わないでください。
- 定格電流は100mAです。100mAを超える電流を印加しないでください。
- 引火性ガスのある場所で測定しないでください。火花が出て爆発する危険があります。
- 本製品や手が濡れている状態では使用しないでください。

5. 使用方法

- 1 本製品のφ4バナナ端子に取り付けられている端子保護キャップを外して、測定器の入力端子に接続してください。
- 2 ブレーカ端子本体のバリアの内側(Fig.5-1の矢印部)を両側から押し縮めてください。
- 3 滑り止めゴムがブレーカ端子の壁面に押し当てられる位置に取り付けてください。
- 4 インジケータの窓内の色が黒色から白色に変わったことを確認してください。※インジケータの窓内の色は先端アタッチメントが押し込まれたことを確認するもので、ブレーカの端子部に電氣的に接続していることを保証するものではありません。
- 5 測定器本体にて測定値を読みます。

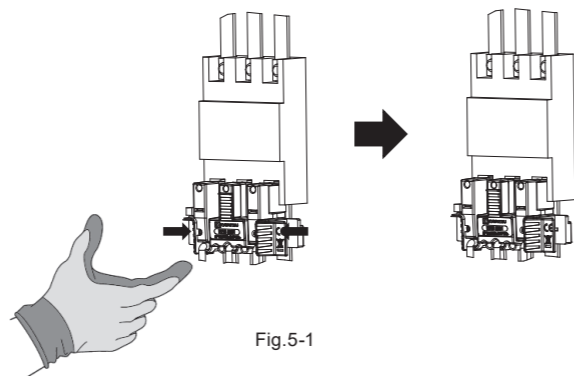


Fig.5-1

- 測定時に先端アタッチメントで電源ラインを短絡しないように注意してください。人身事故の危険があります。
- ご使用の際は指先等が、バリアを超えることのないよう充分注意してください。
- 本製品の使用前に、本製品が正常に動作することを確認してください。

△ 警告

- 本製品を使用しているうちに本体やコードに亀裂が生じたり、金属部分が露出した時は、直ちに使用を中止してください。
- 本製品の分解、改造、代用部品の取り付けは行わないでください。修理・調整が必要な場合は、弊社サービスセンターまたは販売店宛にお送りください。
- 本製品を計測器に接続するときは、コネクタ部を根元まで計測器に差し込んでください。
- コード内部から金属部分または外装被覆と異なる色が露出したときは、直ちに使用を中止してください。

△ 注意

- 用途目的以外の使用や取扱説明書の使用方法以外で使用しないでください。
- 高温多湿、結露するような場所および直射日光の当たる場所に本製品を放置しないでください。
- クリーニングには研磨剤や溶剤を使用しないで、中性洗剤か水に浸した布を使ってください。
- 本製品が濡れている場合は、乾燥後保管してください。
- 本製品は防水構造になっていません。水のかかるおそれのある場所では使用しないでください。故障の原因となります。

記号の説明

本製品および取扱説明書には、以下シンボルマークが表示されています。それぞれのマークが意味する内容をよく理解した上でご使用ください。

	人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。
	本製品はWEEE指令(2012/96/EC)マーキング要求に準拠します。(EU圏内のみ有効)

●先端アタッチメントの交換方法

ブスパーなどにより先端アタッチメントがブレーカの端子に届かない場合、先端アタッチメントを延長させることができます。先端アタッチメントを左に回すことにより、取りはずすことができます。φ4バナナ端子を測定器本体から外した状態で、先端アタッチメントを裏返して右に回して取り付けることで端子の長さを延長できます。

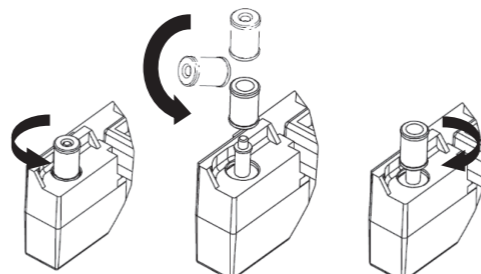


Fig.5-2

- オプションMODEL 7315-BLKバナナφ4メス-メスアダプタ取り付け例
 接続先が検相器等のφ4バナナ端子のオス側の場合、オプション品のMODEL 7315-BLKバナナφ4メス-メスアダプタを接続することで、本製品の接続が可能です。

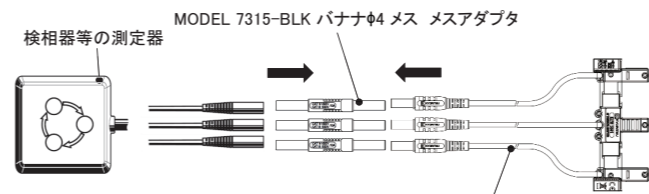
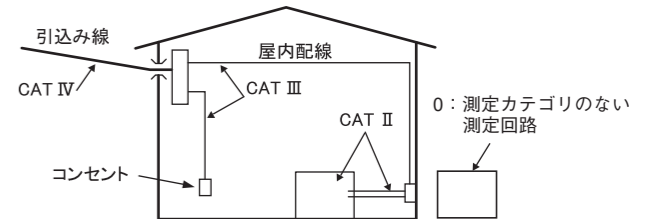


Fig.5-3

3P ブレーカ端子用アダプタ

○測定カテゴリ (過電圧カテゴリ) について
 安全規格IEC 61010-031では測定器の使用場所についての安全レベルを測定カテゴリという言葉で規定し、以下のように0 ~ CAT IVの分類をしています。この数値が大きいほど過渡的なインパルスが大きい電気環境であることを意味します。CAT IIIで設計された測定器はCAT IIで設計されたものより高いインパルスに耐えることができます。

- 0 : 測定カテゴリの無い測定回路
- CAT II : コンセントに接続する電源コード付機器の電気回路
- CAT III : 直接配電盤から電気を取込む機器の1次側および分岐部からコンセントまでの回路
- CAT IV : 引込み線から電力量計および1次過電流保護装置 (配電盤) までの回路



2. 特長

本製品は、電力計、ロガー等の計測器を様々なブレーカ端子に対して、ワンタッチで安全に接続できるアダプタです。
 ※接続できない測定器、ブレーカもあります。

- 安全規格に適合した設計です。
 IEC 61010-031 (手持形プローブに対する要求事項)
 測定カテゴリ CAT III 600V、CAT IV 300V
 IEC 63000(環境規制規格:RoHS)
- インジケータにより本製品がブレーカ端子へ接触していることを確認できます。
- φ4バナナ端子により、様々な測定器に使用可能です。
- オプションのバナナφ4メス-メスアダプタを使用することで、φ4オスプラグの測定器にも接続できます。

6. アフターサービス

- 修理・校正を依頼されるには
 お買い上げいただいた販売店または弊社サービスセンターにお送りください。
- 製品のご使用に関するお問い合わせは
 弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 補修用品の保有期間
 本製品の機能・性能を維持するために必要な補修部品は製造打ち切り後、5年間を目安に保有しています。

■ホームページのご案内
www.kew-ltd.co.jp
 ●新製品情報 ●取扱説明書/ソフトウェア/単品カタログのダウンロード
 ●販売終了製品情報

ご使用に関するお問い合わせは	修理・校正に関するお問い合わせは
共立電気計器 お客様相談室 電話受付時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く) 0120-62-1172	共立電気計器 サービスセンター 〒797-0045 愛媛県西予市宇和町坂戸4 8 0 0894-62-1172
※折り返しお電話させていただくことがございますので 発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。 ※フリーコールをご利用いただけない場合は、最寄りの 弊社営業所へおかけください。	修理・校正を依頼される場合は事前に電池の消耗、 ヒューズや測定コードの断線を確認してから 輸送中に損傷しないように十分梱包した上で 弊社サービスセンターまでお送りください。